

今こそ、子育て社会を みんなの手でつくろう

子育て支援ネットワーク研修

行政の担当者、市民支援団体、専門職と大学が協働し、人材の力量向上を進め、地域の子育て支援ネットワーク活動の発展を目指します。

- **研修日時・プログラム** 平成21年(2009)～平成22年(2010)

7月15日(水) — 1月27日(水)

13:15～16:30 (1回のみ例外あり)

1回3時間(休憩15分あり)・全12回シリーズ

*詳細は裏面、研修日程とプログラムを参照。

- **場 所**：彩の国すこやかプラザ Tel:048-822-1191 *会場案内図を参照

- **対 象**：子育て支援関係者

(個人、市民支援団体、県・市町村行政・保健医療、福祉、教育、心理、司法など担当職員、社会福祉諸施設職員 等)

参加方法：個人参加、組織・団体による一括参加、1日だけの参加も可。組織・団体一括参加では、日によって受講者が変わっても構いません。ただし、当該組織・団体の他職員に、受講者は必ず研修内容を報告することを前提とします。

- **募集期間**：平成21年6月1日(月)～7月12日(日)まで

*1回単位で参加希望の方は12月末まで随時可能

- **募集人数**：45名

- **資料代**：▶全12回分一括の場合

市民支援団体・市民支援団体の個人……………8,000円

行政、組織・団体、これら組織の個人、専門職個人…10,000円

▶1日参加の場合 1回(3時間)……1,000円

*資料代については会場にて受領。または、銀行口座振込。

- **主 催**：子どもと家族のための地域支援研究会

- **協 力**：山村学園短期大学

- **後 援**：埼玉県、埼玉県社会福祉協議会

独立行政法人福祉医療機構「長寿・子育て・障害者基金(地方分)」助成事業

子どもの存在が、子ども自身はもちろん、おとなにも生きる励みとなり、支えとなり、何かを託し伝え、育ち合う仲間となる——そんな町にするために、潤いとなり、

問い合わせ先 山村学園短期大学 鈴木研究室内 子どもと家族のための地域支援研究会

Tel:049-296-2000 e-mail: t_suzuki@yamamura-tandai.ac.jp

申し込み先 同封「申し込み用紙」やe-mail に必要事項をご記入のうえ、

Fax:048-294-0876

e-mail: vc9t-szk@asahi-net.or.jp (研修事務担当)へ。

● 会場案内 — 彩の国すこやかプラザ <http://www.fukushi-saitama.or.jp/saitama00/>

● 山村学園短期大学ホームページ — <http://www.yamamura-tandai.ac.jp/>



研修プログラム

地域を基盤に子どもとその家族の成長を支援する**保健、医療、福祉、教育、心理、司法分野専門職、市民支援団体**にとって基本的知識と方法を習熟するための研修です。

①開催場所：(埼玉県)彩の国すこやかプラザ研修室 (多目的実習室等)

②開催時間：**水曜日**、または**金曜日** 午後**13:15**～**16:30**(中休憩15分)
ただし、☆印(第7日10月14日)は、午前**9:30**～**12:30**も実施。

③募集人数：45名

④内容：以下に記載

	月日	場所	研修科目	講師 (敬称略)
第1日	7月15日(水)	多目的実習室	開講式・自己紹介等 現代の子どもと家族を取り巻く状況	鈴木 孝子 山村学園短期大学 教授
第2日	7月22日(水)	多目的実習室	ここ20年の児童福祉施策の流れ—地域における子育て支援と要保護児童地域対策協議会	小峰 弘明 埼玉県介護保険課(前子育て支援課)
第3日	8月5日(水)	多目的実習室	児童虐待問題と子育て支援 子育て支援と虐待防止—予防の視点から—	栗原 直樹 十文字学園女子大学 教授
第4日	9月4日(金)	多目的実習室	発達障害児の保育・教育支援(1) 発達障害児の保育・教育支援(2)	藤井 和枝 浦和大学 教授
第5日	9月16日(水)	多目的実習室	子どもの発達と遊び 子どもの発達と大人の役割	(交渉中)
第6日	9月30日(水)	多目的実習室	現代家族理解(1)—子どもにとって家族とは 現代家族理解(2)—子どもと家族関係さまざま	鈴木 孝子 山村学園短期大学 教授
第7日 ☆	10月14日 (水)	午前 多目的実習室 午後	コミュニケーションのとりかた(1) コミュニケーションのとりかた(2) 家族カウンセリング(1) 家族カウンセリング(2)	市村 彰英 埼玉県立大学 准教授 (交渉中)
第8日	10月28日(水)	多目的実習室	障害児のための家族生活教育	(交渉中)
第9日	11月18日(水)	多目的実習室	児童の危機、その対応—埼玉県の取り組み「48時間対応、職権保護、リスクアセスメント」 児童の支援システム—児童相談所と児童福祉施設・情緒短期入所施設など・こころのケアと社会的養護の役割	関根 和夫 こどもの心のケアハウス嵐山学園 園長 矢板 千津子 こどもの心のケアハウス嵐山学園 心理指導部長
第10日	12月2日(水)	多目的実習室	うつ症状やうつ傾向等と子育て—医学的知識 産褥期うつ、児童虐待など家族への対応方法	木下 敏子 子育てアドバイザー協会理事長、小児科医、東京国際大学 講師(心身医学)
第11日	12月16日(水)	多目的実習室	ファミリー・ソーシャルワークとケースマネジメント—家族支援と社会的支援の相互関係、家庭訪問型(出前方式)など ネットワークのつくり方、維持のしかた	鈴木 孝子 山村学園短期大学 教授
第12日	1月27日(水)	多目的実習室	スーパーバイザー態勢の必要性—ピアスーパービジョンなどの進め方 これまでのまとめと修了式	鈴木 孝子 山村学園短期大学 教授

* 研修講師は申し込み時まで確定予定。また研修科目自体の変更はありませんが、タイトルは講師により若干変更があるかもしれません。

* 極力この日程で開催の予定ですが、講師、会場の都合で変更の場合もあります。